

尚美学園大学尚友会第9回定期総会報告

会場：株式会社ライセンスアカデミー東京本社会議室

全国の卒業生の皆さん、こんにちは。6月24日（土）に開催された「2023年度第9回定期総会」は盛会裡に終了しましたのでご報告致します。

当日は、久保公人名誉会長からメッセージをいただきました。また、ご多用の中、大学側よりZoomで、副学長 永山賀久様、芸術情報学部長 恩田憲一教授様、総合政策学部長 金原由紀子教授様、スポーツマネジメント学部長 小泉昌幸教授様、情報表現学科長 定平誠教授様、音楽表現学科長 後藤文夫教授様、音楽応用学科長 竹内誠教授様、舞台表現学科長 山崎岩男教授様、総合政策学科長 三野裕之教授様、ライフマネジメント学科兼スポーツマネジメント学科長 眞下英二教授様、教職・資格課程センター長 川島眞教授様をはじめ多くの大学関係者のご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、尚美ミュージックカレッジ専門学校尚美同窓会理事長 佐藤日呂志様からも熱いメッセージをいただきました。本当にありがとうございました。オール尚美として今後ともどうぞよろしく願い申し上げます。

—会長より開会の挨拶—

皆さん、こんにちは。尚友会会長の小山内です。開会にあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

尚友会の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素は尚友会活動に格別のご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

本日の総会には、恩田学部長をはじめ多くの大学関係者の出席を賜り、心から御礼申し上げます。

辛く長かったコロナ禍が収束に向かい、いよいよアフターコロナ時代へ突入しました。コロナ禍を経て人との関わり方が多様化する昨今、尚友会もこの経験を糧にこの世の変化に適応し、さらなる高みを目指して活動を進めてまいりたいと思います。

卒業生が、尚美学園大学が、飛躍を続けられる様な互いの関係を提供することはもとより、何か道に迷った時、困った時に寄り添うことができる同窓会組織を作り上げていきたいと考えております。



私個人といたしましては在学時代のご恩を少しでもお返しできる様に会長職に精進してまいりたいと思います。

さて、学校法人尚美学園がいよいよ3年後の2026年に100周年を迎えます。専門学校同窓会組織である尚美同窓会と「オール尚美」でお祝いに向けて実行委員会を組織して準備を進めているところです。

今後も「尚友会会員の親睦」と「在校生および卒業生の支援」を中心に取り組んで参りますので尚友会会員の皆様におかれましては、引き続き同窓会活動へのご支援とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。このような大変な状況ではございますが、限られた状況と限られた時間でも尚友会役員一同、尚友会、尚美学園大学、そして社会のために真摯に努力して、尚友会の皆様と協力しながら活動して参ります。

本日の総会どうぞよろしくお願い申し上げます。

○第1号議案 2022年度事業報告案について説明する。

2022年度の総会は、新型コロナウイルス感染拡大の深刻な事態が続いていたため、会員の皆様はじめ総会出席者の方々の健康や安全面を考慮して、総会の開催を Web 開催オンライン方式



とさせていただきます。

概況にありますように、2022 年度事業は、卒業生並びに大学関係者からのご支援ご協力を賜り実施致しました。主な事業のうち、第8回定期総会についてはコロナ禍の中、集合方式を中止しWeb 開催とし致しました。

○第2号議案 2022 決算報告案、貸借対照表及び監査報告では、科目別に大項目のみ読み上げ、監査報告を行った。はじめに会計担当高井理事より、科目別に大項目のみ読み上げる。

- ・はじめに会計担当高井理事より、科目別に大項目のみ読み上げる。
- ・収入の部、会費 16,580,000 円、維持会費 134,286 円、前年度繰越金 19,713,136 円
収入の部総計：36,427,650 円
- ・支出の部、本部費 3,076,182 円、事業費 4,005,423 円、助成費 5,484,000 円、周年記念事業費 5,000,000 円
- ・支出の部総計 18,730,065 円
収支の部：総計 17,697,585 円が次年度繰越金となります。
- ・次に貸借対照表であります。資産の部：合計 42,699,741 円



次に監査報告を井戸監事が読み上げる。

○第3号議案 2022 年度事業計画案と第4号議案予算案を合わせて説明する。

2023 年度は、5月の連休明けに新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行しますが、アフターコロナの活性化に関しては、尚美学園100周年を見据え、加速していきたいと思っております。コロナ禍を契機とした社会様式の大きな変化に加え、国家間の対立による資源高騰が進み、私たちにとっては、先がなかなか見通せない状況であります。



しかし、大きく変化する環境においては、事業展開を大きく飛躍させるチャンスも生まれます。活気を取り戻すためにはイノベーションを次々と生み出し、牽引する沢山の人や支部の活動が必要です。

社会環境のこの大きな変動期に、同窓会を活性化させる人、支部をはじめ卒業生を支えることにより、尚友会は社会に貢献していきます。

今後の状況の推移を見ながら、オンライン会議システムの活用なども含めて、可能な限り会員に対する支援を図るよう努めてまいりたいと考えております。

・尚友会事業では、第9回総会を Zoom 形式で行うなどお示した9つの事業を展開します。特に、8番目のキャリアセンターとの連携を強化し、デジタルサイネージ企画による学生募集や就職支援に関わる連携事業、9番目の専門学校同窓会組織と合同で進める尚美学園100周年記念事業に向けての連携を強めていきます。

⇒ここで、4 番目の広報活動事業について、担当である松田副会長から説明があった。

・助成事業では、学友会活動への助成をはじめ、助成交付金の基準を見直し、イベント助成を積極的に活用していただけるように広く周知してまいります。

・また、コロナ禍で支部活動が停滞していた状況を鑑み、適宜支部長と連絡を密に取り合いながら、本部から支部活性化に積極的に関わっていきたいと考えている。特に、芸術情報学部音楽表現学科はもとより、すべての学部の入学生確保について各支部とも連携を取りながら、学生募集支援事業の活用など具体的に打ち手を考えていきたいと思います。全国の尚友会の皆様の熱いご支援をお願い申し上げます。

⇒ここで、Cの支部活動について、担当である白石副会長から説明があった。

・さらに、先に開催された第1回役員会で承認された埼玉総支部の和田山支部長より挨拶をいただいた。

・2023年度予算案では、会計担当高井理事より、科目別に大項目のみ読み上げた。

会員の皆様からも今後の同窓会活動の進め方について、ご意見・ご提案があれば遠慮なく賜わりたいと存じます。



○第5号議案 助成交付金の改正について説明する。

・現在の助成金交付額は、第7条 助成金交付額は、次に掲げる要件により算出することになっており、(2) 本会会員及び一般を対象とするイベント、演奏会等参加集客数が100人未満は、10,000円。以下、200人未満で20,000円、300人未満で30,000円、・・・800人以上一律100,000円となっている。

コロナ禍の中、「Withコロナ」を目指して、積極的な同窓会活動を展開していく中で、100人未満10,000円という助成について、100人以上を集めるイベントは困難で現実的ではないと判断する。観客基準ではなく、主催側の人数で、尚友会としての「絆」を深めていただく方向で、基準額を別紙のとおり改正する。

○第6号議案 個人情報の取扱いについて説明する。

・尚友会の皆さまの個人情報につきましては、今日まで当会が厳重に保管してまいりました。尚友会では、皆さまの個人情報を適切に取り扱うべく、次のような方針を定め、取り組んでまいります。

特に、本部と支部との連携について特段規定を定めていなかったことから、総会議案として上程させていただく。ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

○第7号議案 理事の補充について

・現在の会則では理事の人数は若干名とされている。現役員の任期は来年度までとなっているが、尚友会事業をさらに拡充させるために以下の通り役員を補充を行う。

⇒会長より新役員の紹介を行う。

○司会の富山副会長より、以下の確認を行った。

議題について、慎重かつスムーズなご審議をいただき、すべて可決承認され、報告事項も含めて、滞りなく無事に終了しましたことを、ご報告します。

—終わりの挨拶—

本日は、昨年に引き続きオンラインによる総会を実施しました。全国各地から参加いただき、貴重なご意見やご要望を頂戴致しました。役員一同、同窓会の発展に邁進する所存でございますので、卒業生の皆様には、これまでも増して、ご支援をいただけますように、お願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様におかれましては、体調管理に十分ご留意いただき、今後ともお元気で、ますますご活躍されますことをお祈り申し上げます、閉会のあいさつといたします。本日は誠にありがとうございました。

○以上を持ちまして、第9回定期総会を終了します。

